

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第11回 LLW廃棄体等製作・管理分科会 (F9Ph2SC) 議事録

1. 日時 2008年11月17日 (月) 13:30~15:05
2. 場所 日本原子力発電(株)本店 2階 第4, 第5会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 阿部(主査), 小倉(幹事), 柏木, 坂下, 櫻井, 三本木, 高橋, 中瀬, 中山,
土生, 水越 (11名)
(代理出席委員) 伊藤(河西代理) (1名)
(欠席委員) 岡本(副主査), 大浦, 片岡 (3名)
(常時参加者) 大塚, 水井, 三根, 山田, 御子柴, 菊池, 大内 (7名)
(欠席常時参加者) 大間, 藤井, 熊野, 菊池, 杉山, 中山 (6名)
(傍聴) 中村, 小林, 森山, 片寄, 五十嵐, 樋口 (6名)
(事務局) 谷井
4. 配付資料
F9Ph2SC11-1 第10回 LLW 廃棄体等製作・管理分科会議事録(案)
F9Ph2SC11-2 標準委員会の活動状況
F9Ph2SC11-3 人事について
F9Ph2SC11-4-1 「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法: 200* (仮称)」標準案の
新旧比較表
F9Ph2SC11-4-2 附属書F (規定) 廃棄体製作の品質確認に係わる品質マネジメント項
目の新旧比較表
F9Ph2SC11-4-3 「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法: 200* (仮称)」(中間報
告・案)
F9Ph2SC11-5-1 【原子燃料サイクル専門部会 中間報告】「余裕深度処分対象廃棄体
の品質確認方法 (案)」について
F9Ph2SC11-5-2 中間報告(概要)「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法 (案)」
F9Ph2SC11-6 分科会の進め方について (案)
F9Ph2SC11-7-1 【専門部会 本報告】「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本
的要件」について (案)
F9Ph2SC11-7-2 「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本的要件: 200*」(本
報告・案)

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、開始時に12名の委員の出席があり、分科会成立に必要な委員数(10名以上)を満足している旨の報告が行われた。

(2) 前回議事録(案)の確認(F9Ph2SC11-1)

事務局より、第10回LLW廃棄体等製作・管理分科会の議事録(案)が紹介され、承認された。

(3) 標準委員会の活動について(F9Ph2SC11-2)

事務局より、標準委員会の活動状況について、説明が行われた。

(4) 人事について(F9Ph2SC11-3)

① 報告

事務局より、八木直人(原子力機構)様の常時参加者登録の解除の報告が行われた。

② 承認

事務局より、大内 優(原子力機構)様の常時参加者登録の希望があるとの紹介が行われ、決議の結果、承認された。

(5) 品質確認方法標準案の変更について(F9Ph2SC11-4-1, 4-2)

山田常時参加者より、F9Ph2SC11-4-1, 4-2に従い、前回分科会のコメント等を反映した「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法」標準案の変更について説明があり、以下の修正を行うことで、了承された。

- ・将来的に法令が改正されることを考慮した場合、条項番号まで記載するのは適切か? 他事例を調査すること。
→ 他事例を調査し、法令の条項番号の扱いを修正する。
- ・解説図1の「廃棄体に対する埋設施設の受入要件」と「輸送物の設計要件」から「品質確認の標準」につないでいる破線を削除する。
→ これらの要件は現段階では明確でないが、明確になった段階で、「基本的要件の標準」及び「品質確認の標準」への反映を検討する必要がある。

(6) 品質確認方法標準案の中間報告について(F9Ph2SC11-4-3, 5-1, 5-2)

小倉幹事及び山田常時参加者より、F9Ph2SC11-5-1, 5-2及び4-3に従い、「余裕深度処分対象廃棄体の品質確認方法」の中間報告案について説明があり、本案により原子燃料サイクル専門部会へ中間報告することが了承された。

主な議論等

- ・ 附属書に記載している放射化金属の放射能濃度決定方法の名称等が、「LLW放射能評価分科会」で議論されている放射能濃度決定方法の名称と整合がとれていない。
→ 「放射能濃度決定方法の標準」の内容が確定した段階で、整合をとる。

- ・ 附属書の囲み文(附属書Bのp.2上段等)は、JISZ8301に適合させるため、“注記”に改める方向で今後修正する。
- ・ 附属書Eのp.5(表E.3), p.9(表E.7)は未完成であるが、現在、日本溶接協会にて検討が行われているところであり、その結果を反映して作成する予定である。

(7) 分科会の進め方について (F9Ph2SC11-6)

小倉幹事より、F9Ph2SC11-6に従い、今後のスケジュールが説明され了承された。

- ① 品質確認の標準(案)：サイクル専門部会(12/3)及び標準委員会(12/9)へ中間報告する。
- ② 基本的要件の標準(案)：サイクル専門部会(12/3)へ本報告する。
- ③ 次回分科会は、上記①と②の結果(②の書面審査の結果も含む)を踏まえ、コメント対応として開催する。

(8) 基本的要件案の本報告について(F9Ph2SC11-7-1, 7-2)

中瀬委員より、F9Ph2SC11-7-1, 7-2に従い、「余裕深度処分対象廃棄体の製作に係わる基本的要件」の本報告案について説明があり、本案により原子燃料サイクル専門部会へ本報告することが了承された。

⇒事務局にて、この標準案に記載されている標準委員会等の委員名簿について、最新版に更新する。

6. その他

- ・ サイクル専門部会、標準委員会でのコメント及びその対応を、コメント対応整理表でとりまとめる等して、フォローすること。
- ・ 次回分科会は、平成21年2月上旬に開催する。日時は事務局にて別途調整する。

以上